

第46回関西財界セミナー宣言

われわれは、第46回関西財界セミナーにおいて「自立への覚悟—活力ある未来を目指して—」をテーマに行った議論を踏まえ、以下のとおり宣言する。

1. 深刻かつ重要な課題である地球温暖化問題の解決に向け、革新的技術の研究開発の推進や世界に技術移転するための仕組みづくりなど、日本がリーダーシップを発揮できる総合的な戦略の構築を求める。関西企業が有する優れた環境・エネルギー技術等のさらなる開発・普及をはじめ自主的な取り組みを一層推進するとともに、2008年サミット関係閣僚会合、関西財界訪中代表団等の機会を活用し、アジアをはじめとする各国にこれらの情報を発信していく。
2. 国会が「ねじれ」構造にある中、外交・安全保障、経済・財政など国の重要政策課題について高度な政治決定が的確に行われるよう与野党の責任ある対応を求める。また、わが国が持続的に成長していくためには構造改革が不可欠であり、税財政改革、社会保障制度改革、規制改革の断行に加え、東アジアをはじめ各国とのEPAの推進を求める。さらに、喫緊の課題として2008年度予算および関連法案の早期成立を求める。
3. 日本再生のため、大きな気概を持って成長戦略を描き、その実現に取り組む。また、地域が自立する覚悟を持ち、中央集権体制を根本的に改め、道州と基礎自治体の二層からなる道州制の全国一斉導入を目指す。その道筋をつけるため「関西広域連合」を早期に実現させる。
4. アジアとともに発展し、世界とりわけアジアの中で存在感のある魅力的な関西の創造を目指し、下記プロジェクトを関西全体で推進する。
 - ナレッジ・キャピタル構想をはじめとする大阪駅北地区開発第1期事業の推進と第2期事業のビジョン策定
 - 関西国際空港の第2期施設整備と国際競争力の強化
 - 関空、阪神港、高速道路網をはじめとする陸・海・空の国際物流機能強化
 - 関西文化学術研究都市、国際文化公園都市、神戸医療産業都市等のさらなる発展を通じたイノベーション創出
 - 神戸市に設置される次世代スーパーコンピュータの利用促進
 - 「源氏物語千年紀記念事業」「水都大阪2009」「平城遷都1300年記念事業」への協力
5. 企業不祥事の反省を踏まえ、経営者が倫理観を高め自らを律する覚悟を持ち、企業として社会に貢献する。また、世界にとって魅力ある資本市場の創造に努めるとともに、企業価値の向上と競争力の強化を図るため、独自の強みを活かしつつ、従来の産業の垣根を越えた融合・連携、多様な人材の活用等を推進し、「新しい日本的経営」を確立する。